

かしみもと⑨

令和3年12月6日

発行者:校長 佐藤 和暁

「個別懇談」ありがとうございました

11月25日～12月3日まで、個別懇談が行われました。各学級担任が保護者の皆様とお子さん一人一人について話をすることが出来た貴重な機会となりました。話し合ったことを今後の指導にしっかりと反映させていきたいと思っております。ありがとうございました。

「学習発表会」について

年度当初、10月23日(土)に開催を予定していた学習発表会でしたが、その日に運動会を延期したこともあり、予定通り開催することが出来ませんでした。そこで、5月31日付の連絡文書でもお知らせしておりますが、3学期に各学年ごとに学習活動発表の機会を設けるように計画しております。各学年ごとの開催日、発表内容等については現在調整中ですので、3学期早々に全学年分をまとめてお知らせいたします。

なお、発表の日は勿論ですが、それに向けての準備や練習等においても、3密を出来るだけ回避することに対応するため、全学年別日開催となる予定です。ご理解くださいますようお願いいたします。

また、次年度につきましても、今年度の成果と課題を踏まえながら、コロナ禍の収束が未だに見通せない状況であること、体育館の広さ(狭さ)、各教科の指導時数の確保等も考慮し、学習発表会の実施形態、内容等を検討していく予定があることもお知らせいたします。

活躍しました

【第41回福島市小学生俳句コンクール】

〈優良賞〉 6年 佐藤 優多香

【第34回明るい社会づくり作文コンクール】

〈福島民友新聞社賞〉 5年 佐々木 智彩

【第10回子ども未来クラブ小学生ポスター展】

〈入選〉 5年 今野 麻理奈

【第19回MOA美術館児童作品展】

〈入選〉 5年 佐久間 唯花

メディア、生活習慣、学力、「小学校に入るまでにできてほしいこと」

11月18日、福島県小・中学校長会の生徒指導部会が開催され、出席してきました。そこで、福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療センター教授 横山浩之先生の話聞くことが出来ました。医師の立場、医療現場からの大変興味深い、衝撃的な内容もあった話でした。その内容で特に印象に残った内容を参考までにお知らせします。

また、そこでいただいた資料「小学校に入るまでにできてほしいこと」(別添)も合わせてご覧ください。資料のタイトルが、「入学前・・・」とはなっていますが、どの学年の子ども達にも当てはまる内容だと思いますので、ぜひ参考にしてください。

- 子ども(人格形成期)の時期にゲーム依存等になると治療が大変困難である。(治らない。)
- 依存症の怖いところは、禁断症状が存在すること、依存対象を探し求めること、依存対象のためなら何でもしてしまうこと。
- 子どもがぐずった時にスマホを与えることで、子どもはスマホに頼ることを覚えてしまうようになる。
- 「小学校に入るまでにできてほしいこと」(別添資料参照)が身に付かないと、就職が困難になることにつながる。
- 日本の子ども達の睡眠時間は、諸外国と比較して1～2時間も短い。
- 生活習慣と学力は直結する。学力が高い県の子ども達は、生活習慣がしっかり身に付いている。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」が出来ると、メディアの時間が減ることにつながる。
- ※ このほかにも、不登校等に関しての内容もありましたが、ここではメディア、生活習慣、学力に関する内容についてお知らせしておきます。